



井原市立高等学校の非認知能力を育成する取組を取材しました。

【キーワード】

- ①自分と自分をつなげる力 ②自分と他者をつなげる力 ③自分と社会をつなげる力 ④12の資質・能力

岡山大学 中山芳一准教授による夢育を通して育てたい非認知能力を表すアイコン（ロゴマーク）



自分を高めめる力



自分と向き合う力



他者とつながる力



地域とつながる力

【取組のポイント】

1【井原“志”民力を踏まえた学校の目標設定】

- 井原市は令和元年度より「ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業」を立ち上げ、井原“志”民力として、「いばら愛」「やりぬく力」「まきこむ力」の非認知能力の育成に取り組んでいる。
- 井原市立高等学校は井原“志”民力を踏まえて育てたい生徒像を「強く やさしく 誠実な 生徒」とし、非認知能力の育成に取り組んでいる。

2【非認知能力育成の視点】

- 3つの育てたい生徒像ごとにチャンクダウン（細分化）
- 育てたい生徒像の3つの要素「強さ、やさしさ、誠実さ」を非認知能力と紐付け、それぞれ「自分と自分をつなげる力」「自分と他者をつなげる力」「自分と社会をつなげる力」とした。
- それぞれの力をさらに具体的な生徒の姿として「自分の存在・感情・考えを大切にすることができる（自己肯定感）」などの計12の資質・能力にチャンクダウンし、目標とした。（右図）

3【事例】

- 始業式での全校への周知や非認知能力育成プログラムの体験を実施
校長から「育てたい生徒像(12の資質・能力)」を「求める生徒像」として説明した後、各課長からそれぞれの課として育てたい資質・能力の説明を行っている。また、非認知能力育成プログラムのAncsプログラムの体験を実施し、これからの自分を考えることで「メタ認知」の力を養っている。
- 行事で伸ばしたい資質・能力を設定し、意識づけと振り返りの実施
生徒用の実施要項に、どの資質・能力を伸ばしたいかを12の資質・能力から選んで記入させるようにしている。それを意識しながら行事に参加し、行事後には振り返りシートで目標とした資質・能力を獲得できたか振り返り、教師は生徒の伸びたところをコメントで書き入れて返し、自己肯定感を高めている。
- 授業や生徒指導で「自分と自分をつなげる力」や「自分と他者をつなげる力」を伸ばす
授業では生徒同士の教え合いを大切にすることで、自己肯定感を高めることにつなげている。生徒指導では、「忍耐力」や「規範意識」など、12の資質・能力のうち、どの力を伸ばしたいのかを教師と一緒に考え、生徒と共有することで、一人一人に合った丁寧な指導を心掛けている。
- 社会参画事業「ゆめここ☆Lab@井原」に参加
井原市内の3高校と地域の連携による社会参画事業「ゆめここ☆Lab@井原」では、井原市内の町屋調査や、特産品を使ったPR用の商品を市内の企業と一緒に開発し市販するなどの活動を行っている。他の生徒と協働し、意見を出したり、共に活動したりすることで「自分と他者をつなげる力」「自分と社会をつなげる力」を高めている。
- 「自分と他者をつなげる力」を伸ばす委員会活動
保健委員会で行っているウォーキングコンテストでは、準備からまとめなどの活動を行う中で、目標を達成できるように生徒同士、互いに声を掛け合うという利他性を伸ばす活動ができている。

井原市立高校 育てたい生徒像

強さ

やさしさ

誠実さ

自分と自分をつなげる力

自分と他者をつなげる力

自分と社会をつなげる力

自分の存在・感情・考えを大切にすることができる。
(自己肯定感)
辛いことや苦しいことがあっても、我慢することができる。
(忍耐力)
気持ちが減入ることがあっても、気持ちを切り替えることができる。
(回復力)
今の状態を高められるように、さらに意欲的に行動することができる。
(行動力)

相手の感情や考えを想像的に考えることができる。
(他者理解)
自分と相手との意思疎通を図ることができる。
(コミュニケーション力)
複数の相手に合わせて行動することができる。
(協調性)
他者に、よりよくなってもらえるように行動することができる。
(利他性)

社会のルールやマナーを守ることができる。
(規範意識)
社会の中で果たしたい役割に挑むことができる。
(使命感)
社会の中で果たさなければならぬ役割をやり遂げることができる。
(責任感)
社会から受け入れられるように行動することができる。
(社会性)



始業式の様子



非認知能力育成プログラム(Ancs)の様子



授業での教え合いの様子

取材を終えて

井原市立高校では、校長のリーダーシップのもと、高等学校の発達段階に即した実践を行っていました。卒業後を見据え、自分の内面の部分を大事にしながらも、他者理解やコミュニケーション、協調性や社会性といった他者や社会とのつながりを意識した非認知能力の育成に取り組まれました。